

# 肺炎球菌感染症について 知っておきたいこと



肺炎球菌は、鼻やノドの奥にすることが多く、肺炎の原因となる主な細菌です。からだの抵抗力(免疫力)が弱まったときなどに感染しやすく、普段は元気に暮らしている方でも肺炎球菌感染症にかかる可能性があります。日常的な手洗いやうがいに加え、肺炎球菌ワクチンの接種もご自身でできる大切な感染症予防のひとつです。

監修

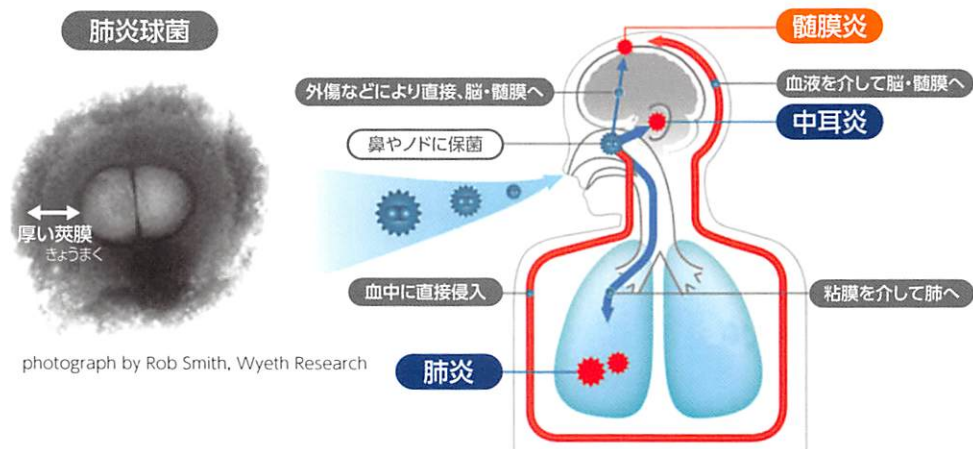
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科  
呼吸器内科学分野(第二内科) 教授

**迎 寛** 先生

## 肺炎球菌と肺炎球菌感染症

体調を崩して免疫力が低下したときや風邪をひいた後などに、肺炎球菌による感染症※を発症することがあります。

※ 肺炎、髄膜炎、菌血症/敗血症、中耳炎など



肺炎は、気道の奥にある気管支のさらに奥にある肺胞で炎症がおきた状態で、大変苦しい病気です。

## 肺炎球菌感染症のリスクファクター

**乳幼児や高齢者、以下の疾患を持つ方は  
肺炎球菌感染症にかかりやすいと  
されます。**

### 年齢によるもの

5歳未満（特に2歳未満）



65歳以上



### 年齢以外のもの

慢性肺疾患

糖尿病

慢性腎臓病

リウマチ・自己免疫疾患

心疾患

神経・筋疾患

慢性肝疾患

免疫不全・機能低下

その他

たばこを吸っている方など

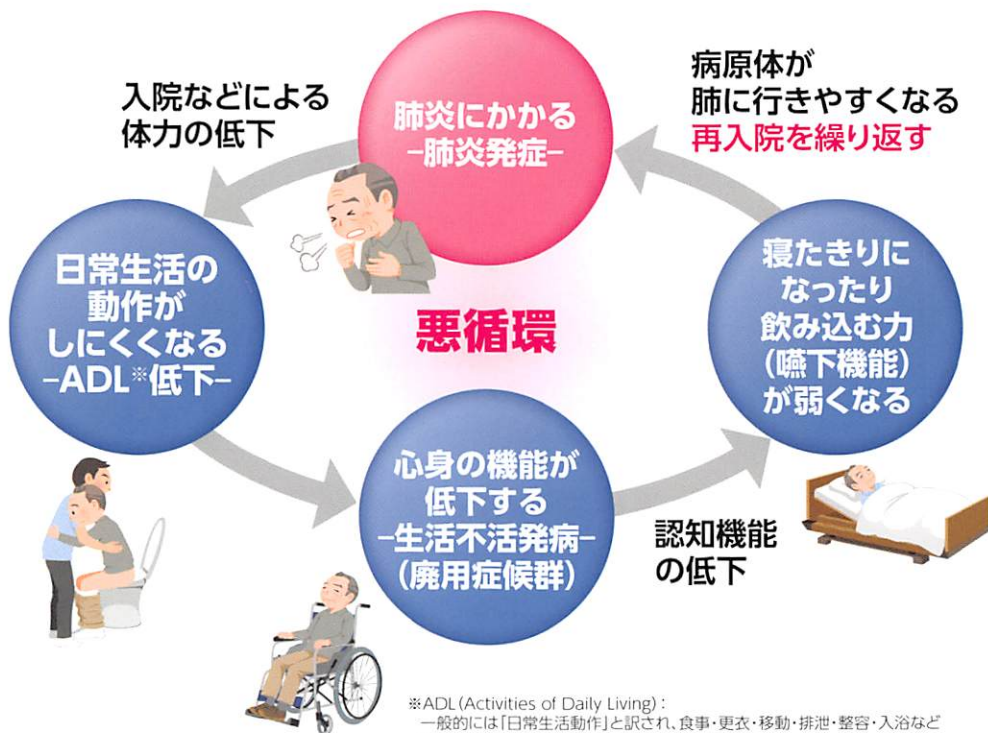


Shea, K. M. et al.: Open Forum Infect Dis 1 (1): ofu024, 2014より作図（本研究は、ファイザー社の支援を受けた）



## 肺炎の悪循環

肺炎にかかり体力が奪われることで、  
ふたたび肺炎にかかりやすい  
状態になります。



肺炎は、何度も肺炎を繰り返す悪循環に  
おちいり、全身が弱ってしまうところが  
本当のこわさです。

## 肺炎の悪循環

**肺炎の悪循環におちいると、  
生活不活発病となることがあります。**

### 生活不活発病（廃用症候群）

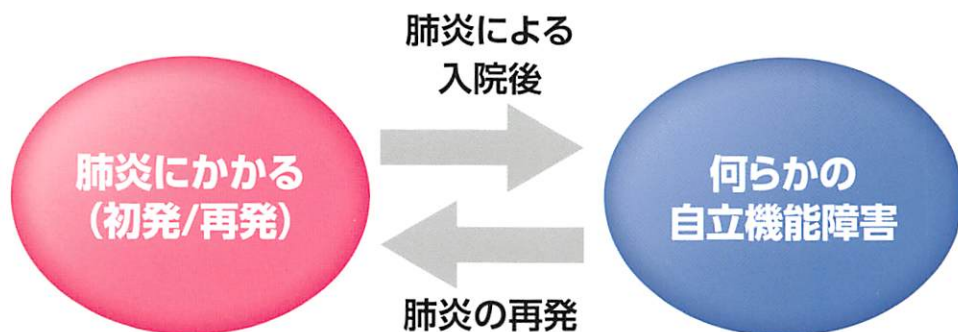
長期の安静状態の持続によっておこります。



筋力低下、体力低下、認知機能の低下などの  
症状であり、長期間のベッド上での生活により  
引き起こされる悪影響といえます。

## 肺炎の悪循環

**年齢とは独立した肺炎再発の危険因子として、何らかの自立機能障害があることも報告されています。**



**※自立機能障害とは、杖や車椅子などの補助器具の使用あるいは介助なしで動いたり、歩行できない状態(完全に自立していない状態)です。**

何らかの自立機能障害は、再発性肺炎、早期(退院後30~90日)の再発性肺炎のいずれにおいても独立した危険因子でした。再発性肺炎相対リスク(HR):1.70[95%信頼区間(CI):1.30-2.23]、 $P<0.001$ 、早期再発性肺炎HR:2.15[95%CI:1.12-4.10]、 $P=0.021$

**対 象:** 2000~2002年にカナダ アルバータ州エドモントンの7救急センターおよび6病院のいずれかで肺炎と診断された6,874例

**方 法:** 市中肺炎患者を対象とした人口ベースの前向きコホート研究。肺炎で入院し完治後3か月以上経過した患者の臨床状況、自立機能状態、投薬状況、肺炎重症度(PSI)の追跡を5年間行った。

**解析方法:** 年齢、性別、PSI、自立機能状態、投薬状況で調整したCox比例ハザードモデルにより、再発性肺炎における独立した相関因子の特定を行った。P値は、多変量ロジスティック回帰分析を用いた。

Dang, T. T. et al.: Clin Infect Dis 59(1): 74, 2014 (本研究は、ファイザー社の支援を受けた)

## 肺炎に伴う入院費用

# 肺炎により入院すると 医療費の負担がかかります。

### 高齢市中肺炎※<sup>1</sup>患者における入院費用

入院時の総医療費 (中央値)※ <sup>2</sup>	539,916円 (IQR:368,737～853,560円)※ <sup>3</sup>
入院期間 (中央値)	14日 (IQR:9～25日)
1日あたりの 入院費用※ <sup>4</sup>	38,565円※ <sup>5</sup>

IQR:四分位範囲

※<sup>1</sup>: 市中肺炎とは、病院や介護施設・療養施設外で日常生活をしている方に発症する肺炎です。

※<sup>2</sup>: 高額療養費、診断群分類包括評価(DPC制度)等の制度が適用されることで、自己負担額が変わる可能性があります。

※<sup>3</sup>: 4,851ドル(IQR:3,313～7,669ドル)を、2017年5月時点の為替レート(1ドル=111.3円)で換算。

※<sup>4</sup>: 1日あたりの入院費用は“入院時の総医療費(中央値)/入院期間(中央値)”で算出。

※<sup>5</sup>: 3割負担の場合は11,570円(1割負担の場合は3,857円)となります。

**対 象:** 2014年6月1日～2015年5月31日に抗生物質が処方されていた65歳以上の高齢肺炎患者29,619例  
**方 法:** メディカル・データ・ビジョン株式会社(東京)が提供する医療費データベースを使用し、高齢患者における市中肺炎の経済的負担及び総治療費と市中肺炎リスク因子との関連性について、後ろ向きに解析、検討を行った。

Konomura, K. et al.: Pneumonia (Nathan) 9: 19, 2017より作表

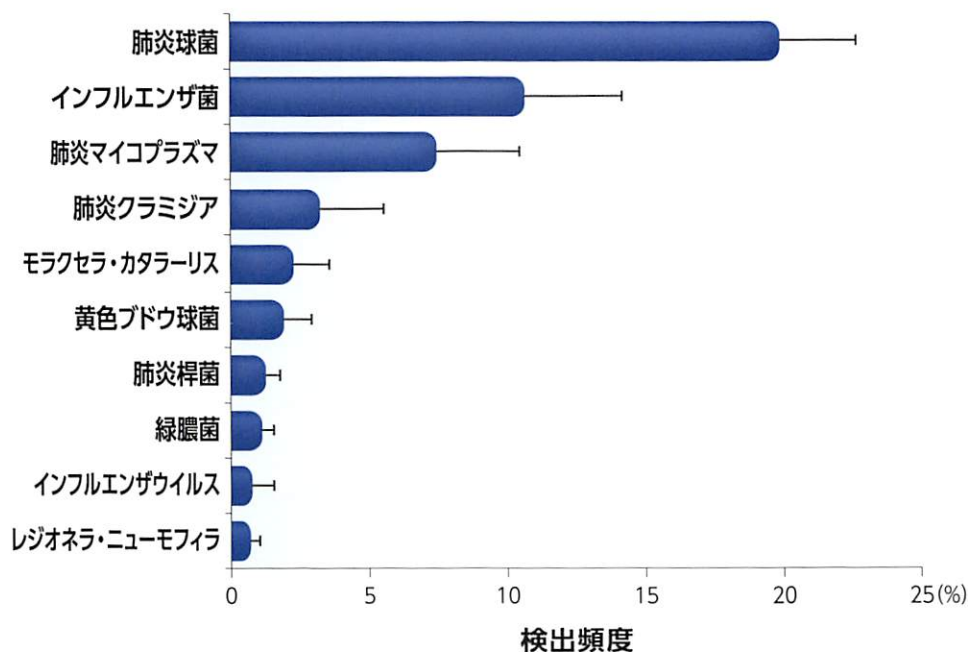
注) お示した費用や入院期間は推計値であり、医療機関や患者さんのご状況によって異なります。



## 市中肺炎の原因微生物

市中肺炎における原因微生物として、肺炎球菌が最も多く分離されていました。

国内の入院・外来を問わない市中肺炎症例の検出微生物  
(n=3155)



**方 法:** 国内の入院・外来を問わない市中肺炎症例の検出微生物における10研究のメタ解析で検出された上位10病原微生物 (メタ解析により95%CIを追加)

日本呼吸器学会成人肺炎診療ガイドライン2024作成委員会:成人肺炎診療ガイドライン2024 メディカルレビュー社:29, 2024  
本ガイドラインは、『Minds診療ガイドライン作成マニュアル』に準拠して作成された。  
上記のデータ作成においても、システマティックレビュー、メタ解析は同マニュアルに従って行われている。

市中肺炎とは、病院や介護施設・療養施設外で日常生活をしていた人に発症する肺炎です。



## 感染症の予防

# 普段の生活から 感染症予防に気をつけましょう。

- ☒ バランスのよい食事
- ☒ 適度な運動
- ☒ うがい・手洗い
- ☒ マスクの利用
- ☒ 適切な口腔ケア
- ☒ 禁煙
- ☒ 持病の治療
- ☒ 健康診断
- ☒ 肺炎球菌ワクチン接種
- ☒ インフルエンザワクチン接種

できるだけ多くのチェックがつくような生活を心がけましょう。

# MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**医師からの説明を受けて気づいたことや、ご家族**

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**と話し合った内容などをメモしておきましょう。**

詳しくは、

おとなの肺炎球菌感染症.jp



おとなの肺炎球菌

検索

